

ほくりくどう・参勤交代 13日 → 北陸新幹線 2時間 28分

— 悲願 50 年 北陸新幹線（東京～金沢間）全線開通 —

全線 328.5km：平地 116.0km、トンネル 160.3km、橋梁 52.2km



NPO 法人 建設技術監査センター
理事長 五艘 章（土木学会フェロー）

私のふるさと富山は3月14日、新装富山駅に「かがやき第1号」を迎え、プラットホームは「ふるさと」の歌が流れ、県知事をはじめ歓迎の人々の笑顔が弾ける。県民は「かがやくふるさと」を思い描き、沸き立っている。

2月13日、参勤交代を題材にした松竹の『超高速 参勤交代』が第57回ブルーリボン賞を受賞、本木克英監督は日本アカデミー賞・優秀監督賞、佐々木蔵之助は優秀主演賞を受賞し、北陸新幹線全線開通の祝砲になる。いま少し映画に触れたい。廃藩をたくらむ江戸幕府は、通常8日間と莫大な費用を要する参勤交代を“5日で成し遂げよ”と無理難題を磐城の小藩・湯長谷藩に押し付ける。湯長谷藩は奇想天外な作戦により5日目、江戸城閉門ギリギリに駆け込む歴史エンターテインメント作品である。本木克英は富山市で生まれ育った私の甥である。

東海道新幹線開通の翌年、昭和40年9月金沢で開催された「1日内閣」に佐藤首相も出席、富山県代表・砺波商工会議所会頭・岩川毅は、東京を起点に立山連峰直下2000mをトンネルでぶち抜き、富山、金沢経由で大阪に至る「北陸新幹線建設」を求めた。願いは13年後、整備新幹線5線の具体的実施計画に結実し、翌年、環境影響評価指針を了承した。計画は国の巨額な財政赤字、国鉄の経営悪化を背景に凍結されるも、平成13年、ミニ新幹線、ルート変更による工事着手区間の削除など紆余曲折を経て、フル規格の計画で建設工事が着手される。一日内閣から50年、超難産の末、県民の夢が実現した。難産の子ほど遅く育つ。新幹線による経済投資効果は石川県、富山県合わせて年間200億円と予測されている。「かがやき」は未来に向かって走る「夢・ひかり」である。

ここで江戸中期から戦前に掛けて、金沢市に次ぐ日本海側第2の都市富山市を育んだ背景を紹介したい。

江戸時代、加賀藩の参勤交代は北陸道の倶利伽羅峠を越え、小矢部川、庄川、神通川、常願寺川、黒部川を渡河し、荒波砕ける親不知・子不知の崖下海岸を走り、直江津、小諸から中山道に合流し、13日を要している。越中・富山は立山連峰に囲まれ、藩の外に出るには倶利伽羅峠を越えるか、親不知・子不知海岸を走るか、ザラ峠を越えるしか、道は無い。富山藩2代藩主が奨励した売薬がもたらす全国の情報、青少年の心に火を着ける。星雲の志に燃えて郷関を出た者は数知れず。明治の財界人・安田善次郎、大谷米太郎、横綱・太刀山、梅ヶ谷も大望を胸に親不知・子不知海岸を走った先達である。彼等は後輩の育成に貢献したことも特筆に値する。

立山を源流とする豊富な水流を誇る黒部川、常願寺川、神通川、庄川、小矢部川の洪水は富山県民に塗炭の苦しみを与える。明治26年、政府が派遣したオランダ人技師デレーケは県内の急流河川を見て「川ではない。滝である」と。一方、日本海に開いた港が北前船の寄港地として栄え、江戸時代末期から明治の前期に多くの廻船問屋を排出し、莫大な利益を揚げる。この利益が河川改修、港の改修、電源開発に活かされて、富山市は日本海側で金沢に次ぐ人口の多い市に成長する。富山の北前船が松前藩から買付けた昆布が、薩摩藩の密貿易に使われ、莫大な利益を生み、之が明治維新の原動力になった事はあまり知られていない。『千石船一航海で千両』といわれている北前船も海難事故や浮き沈みが激しく、明治の末には鉄道と汽船の進出によって廃業に追い込まれる。

北陸銀行の基礎を築いた藤井能三は、明治6年「一日後ル八百年の損失」として私財を投じ、県下初の伏木小学校を開校している。明治16年には日本初の汽船会社を設立し、日本海海運業を活性化し、地域経済の発展に大きく寄与する。富山県は明治18年、全国の魁として富山中学校（現・富山高校）を設立する教育県でもある。明治20年代、海運業で莫大な利益を得た馬場汽船の社長が40歳で死去し、遺された妻・はるは大正12年、今の100億円を超える巨額を県に寄付し旧制富山高校（現富山大学）創設に尽力し『富山県教育の母』といわれている。



半年は豪雪に閉じ込められ、河川氾濫に苦しめられる富山県人は逞しく粘り強い。売薬と海運業で蓄積した資金を活かし、激流河川を活かした電源開発に取り組む。豊富で安価な電力により企業誘致を進めた富山県は日本海側有数の臨海工業地帯が実現した。昭和20年8月2日の空襲により99.5%が焼滅した富山市は昭和30年代、人跡未踏の黒部溪谷に黒四ダムを建設し、有峰ダムと共に我が国の経済発展に大きく寄与している。北陸新幹線は土木技術者が拓いた未来への希望であり、二つのダムと共に富山県が誇る後世への最大遺物として評価したい。

私は、県下で唯一柔剣道正課の富山高校でひたすら柔道に打ち込み、39年の東京オリンピックに行けるとも言われたが、連日、新聞に踊る黒四ダムの記事と内村鑑三の「後世への最大遺物」に刺激を受け、土木技術者を目指した。歴史はその時代の世界最高の物流・人流・情報の路に挑戦した国が世界のリーダーとして君臨した事を教えている。ローマ、チンギスハーンの蒙古、スペイン、イギリス、アメリカ、1970年代の日本等である。大自然と闘い、人智を尽くして世界一超高速鉄道・北陸新幹線を造った土木技術者にエールを送り、拙文を締めたい。

(参考文献)

- ① 北陸新幹線 Wikipedia
- ② ふるさと富山 百三十年のあゆみ 富山県公文書館
- ③ 延長別日本のトンネルの一覧 Wikipedia
- ④ 2025年度 「とやまの北前船」普及啓発事業 日本海学推進機構
- ⑤ 富山市 Wikipedia
- ⑥ 富山大空襲 Wikipedia
- ⑦ 北陸道 街道歩きの旅 Kaidaruki.com/area
- ⑧ 北陸道 を歩く Akifumi Yahiro
- ⑨ 北陸新幹線開業による富山県内への経済波及効果 (株)日本政策投資銀行富山事務所

事務局通信

1. 3月24日(火)に平成26年度第2回理事会が開催されました。
理事の出席は委任状を含めて17名/全18名、監事2名が出席されました。
2. 4月の会議予定
 - (ア) 4月9日(木) 14:00~16:00: 運営会議
 - (イ) 4月9日(木) 16:00~18:00: 教育研修委員会
 - (ウ) 4月17日(金) 16:00~18:00: ソーシャルビジネス提案コンテストワーキング
 - (エ) 4月24日(金) 15:00~17:00: 共創プラットフォーム事業化研究会
3. 3月31日現在の会員数
法人正会員 21、個人正会員 21、法人賛助会員 31 合計 73

事務局

お問い合わせは
こちらまで

特定非営利活動法人

シビルNPO連携プラットフォーム

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目13番地7
名古屋ビル本館2階 コム・ブレイン内

事務局長 内藤 堅一: info@npo-cncp.org

ホームページ URL: <http://npo-cncp.org/>